

活動内容・特色



こんな時間も大切です

○私たちの「どんぐり」では、指導員のことを子どもたちが「～～先生」とは呼んでいません。みんな「〇〇ちゃん」のように「愛称」で呼んでもらっています。それは、児童クラブは、学校でもない家庭でもない、子どもたちにとって特別な場所だからです。

○「どんぐり」には、障がいのある子どももいます。でも、その子どもたちを特別扱いにはしません。みんなと同じように、遊び方も任せますし、指導員もみんなでその子どもたちを見ていきます。そして、そのような関わりの中から、個別にどのように接していくのが一番よいのか、どのような点に留意したら上手にコミュニケーションがとれるかなど、毎日の中から多くのことを学んでいます。その積み重ねが、指導員の資質向上につながっています。

○学校の担任の先生や特別支援学級の先生、養護の先生、放課後子ども教室のコーディネーターとも、子どもたちのことについて情報交換の時間を持つようにしています。また、迎えに来た保護者の方々にも、子どもの様子を伝え、お互いに知らない場での子どもの様子について、意見を交わしています。

○晃宝小学校には、学校を支える地域の人たちでつくる「魅力ある学校づくり地域協議会」という組織があります。ここで計画されるとても楽しい行事にも、「どんぐり」の子どもたちを参加させていただいております。



放課後子ども教室での子どもたち



外はまくら、でもゆったりあたたかです。

児童指導員より

「どんぐり」としての大きな時間割はあるもののこちらから、時間を切って全てをリードしてしまうことはしません。子どもたちの自主性や協調性を大切にし、したいことが楽しくできるようにアドバイスをします。外遊びは、みんな大好きなので、暗くなる直前まで一緒に遊んでいます。毎日、子どもたちと一緒に笑えることが楽しいです。



「どんぐり」の行事紹介

校内たんけん・映写会・バーベキュー・かき氷やさん・水風船大会・おばけやしき・お店屋さん・親子レク・県立科学館へ行こう・太鼓体験・おやつ買い・スイカ割り大会など



保護者会と協力して、楽しい行事を毎年企画しています。昨年は、おやじの会の協力で、「流しそうめん」にも参加し、美味しいそうめんに笑顔でした。



放課後子ども教室「ピノキオ」も明るく広い

保護者の声・お母さんから



子どもがのびのびと活動しているのを見て、とても嬉しく思っています。
みんなの中に入って、いろいろなことをたくさん経験でき、とてもありがとうございます。
迎えに来た時に、みんなと一緒に笑っている姿を見るととても安心します。指導員のみなさんともいろいろな話ができるので、子どもの様子もよく分かります。「ピノキオ」と「どんぐり」の二つで、いろいろな体験活動ができるので、とても充実していると思っています。

「ピノキオ」・コーディネーターより

学年が違う子どもも、障がいのある子もない子もいろいろな子どもたちが、放課後にみんなと楽しく、そして自由に遊べる環境づくりに努力しています。集団での群れ遊びや、異年齢での遊びを通して、人を思いやる心や、仲間とルールを守ることの大切さを学んでほしいと願っています。

